

多様な読書活動による読書推進を

令和6年11月に実施した「読書に関する調査」にご協力いただきありがとうございました。県南域内の調査結果の一部を以下に示しました。調査の結果からは、多様な読書活動が読書の推進を支えていることが推察できます。学校図書館の活用と発達段階に応じた読書活動の充実を図りながら、幼稚園・小学校・中学校の今だからこそ読書に親しむ機会を確保し、生涯にわたる読書生活の土台を築いていくことが重要といえます。今回の結果を各学校での読書活動の推進、充実に役立ててください。



令和6年度の読書調査結果及び考察

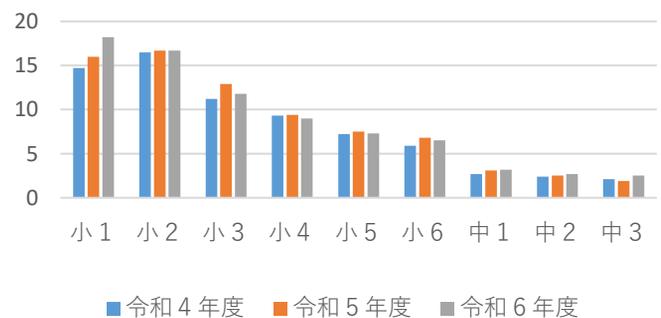
○ 対象人数 域内全小・中学校全学年（1学級抽出又は全学級）

計6928人（域内全小・中学校在籍者の67.5%）

1 【平均読書冊数について】（単位：冊）

| | 小1 | 小2 | 小3 | 小4 | 小5 | 小6 | 中1 | 中2 | 中3 |
|-------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 令和4年度 | 14.7 | 16.5 | 11.2 | 9.3 | 7.2 | 5.9 | 2.7 | 2.4 | 2.1 |
| 令和5年度 | 16 | 16.7 | 12.9 | 9.4 | 7.5 | 6.8 | 3.1 | 2.5 | 1.9 |
| 令和6年度 | 18.2 | 16.7 | 11.8 | 9 | 7.3 | 6.5 | 3.2 | 2.7 | 2.5 |

読書冊数（平均冊数）



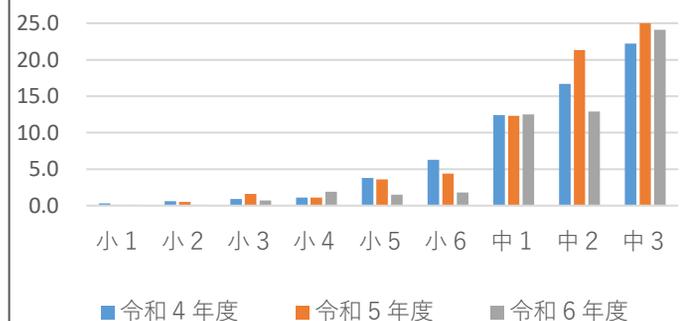
○ 小学1～3年生の読書冊数は15.3冊であり、読書に親しんでいることが分かります。学年が上がるにつれ読書冊数は減少傾向にあります。中学生の読書量については微増しています。次頁の「5 【校内で読書活動推進の取組を行っている学校】」の結果にあるような多様な取組や、各教科での図書の活用、ビブリオバトルなどの取組が読書に親しむきっかけになっていると考えられます。

2 【不読者（1か月に1冊も読まなかった児童生徒）の割合】

（単位：%）

| | 小1 | 小2 | 小3 | 小4 | 小5 | 小6 | 中1 | 中2 | 中3 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|
| 令和4年度 | 0.3 | 0.6 | 0.9 | 1.1 | 3.8 | 6.3 | 12.4 | 16.7 | 22.2 |
| 令和5年度 | 0.1 | 0.5 | 1.6 | 1.1 | 3.6 | 4.4 | 12.3 | 21.3 | 25.0 |
| 令和6年度 | 0.1 | 0.1 | 0.7 | 1.9 | 1.5 | 1.8 | 12.5 | 12.9 | 24.1 |

不読者の割合



○ 小学校では特に高学年で不読者の割合に減少が見られました。中学校では中学2年生の不読者の割合が減少しています。次頁「3 【読書したきっかけ】」にあるように、読書に親しむきっかけは、学校図書館、公立図書館、本屋などが考えられます。学校図書館の整備と活用を図ることで、不読者の減少が期待できます。

3 【読書したきっかけ】（割合の高い項目）

| 項目 | 小学校 | 中学校 |
|--------------------|-------|-------|
| 学校の図書館で見つけた | 60.3% | 23.8% |
| 公共の図書館で見つけた | 10.2% | 5.3% |
| 本屋で見つけた | 7.4% | 33.8% |
| 新聞・雑誌・テレビ・インターネット等 | 2.4% | 12.9% |

4 【読んだ本の媒体】

| | 小学校 | | 中学校 | |
|--------------|-----|-----|-----|-----|
| | R5 | R6 | R5 | R6 |
| 紙の本のほうが多い | 96% | 95% | 94% | 89% |
| デジタルの本のほうが多い | 4% | 5% | 6% | 11% |

- 「読書したきっかけ」として割合の高い項目は、小学校では「学校図書館で見つけた」で、中学校では「本屋で見つけた」となっています。小学生の読書のきっかけとして学校図書館が重要な役割を担っていることが分かります。また、中学生になると「学校図書館で見つけた」よりも「本屋で見つけた」が上回っています。発達段階に応じて、徐々に自分の興味関心に合った本を選択するようになります。学校では、各教科の学習などを通して様々な読み物に触れ、読書の幅を広げるきっかけを作り、読書への意欲につなげていくことが重要です。
- 「読んだ本の媒体」に関しては、小学校、中学校ともに「紙の本のほうが多い」が高い割合を示しています。一方で、中学校においては、「デジタルの本のほうが多い」と回答した生徒数が昨年度より増加しました。読書媒体に変化が見られます。

5 【校内で読書活動推進の取組を行っている学校】

（小学校34校、中学校17校）※取組の内容（複数回答可）

| 項目 | 小学校 | 中学校 |
|------------------|-----|-----|
| 図書の読み聞かせ・ブックトーク等 | 33校 | 5校 |
| 読書感想文コンクールの実施 | 26校 | 13校 |
| 必読書・推薦図書コーナーの設定 | 31校 | 12校 |
| 目標とする読書量の設定 | 20校 | 9校 |

県南域内の全小・中学校で、読書推進に向け、様々取組が行われています。ボランティアの活用や公立図書館との連携は、読書に対する興味関心の拡充や児童生徒のニーズに合った読書環境の整備につながります。学校司書等と連携を図りながらさらに学校図書館の環境整備や運営を充実させていきましょう。



6 【読書活動推進に関するボランティアの活用状況】

【公立図書館との連携について】（小学校34校、中学校17校）

| | 小学校 | 中学校 |
|---------------|-----|-----|
| ボランティアを活用している | 28校 | 3校 |
| 公立図書館と連携している | 33校 | 11校 |



令和5年10月～令和6年4月に実施されたキャンペーンです。さまざまな著名人がおすすめの1冊を紹介しています。子どもたちの興味関心を高め、読書の幅を広げるきっかけとしてぜひご活用ください！